

**ALL DOSHISHA**

**サイエンスコミュニケーター養成プログラム**

**生命医科学部 野口範子**

# イギリスのサイエンスコミュニケーションの歴史

1660年  
ロイヤルソサイエティー  
(世界最古の学会)

1799年  
英国王立研究所  
(クリスマス講演:  
科学を一般に普及  
するための啓蒙活動)

1831年  
英国科学振興協会  
(科学研究に対する国民  
の関心を高める討論会)

1985年  
科学理解増進協会  
(Committee on the Public Understanding of Science)  
報告書の提出 ボドマーレポート

インペリアルカレッジで教育プログラム開始

1990年代半ば 狂牛病問題 で注目

# 日本のサイエンスコミュニケーションの歴史

---

- 1948年 朝永振一郎 「科学と人間」 文化のなかの科学の位置づけ  
社会科学、人文科学との相互連関
- 1960年代 高度経済成長
- 1970年代 公害 反公害・反原発
- 1980年代 人間と社会の調和
- 1990年代 若者の科学技術離れ（理科離れ）
- 2005年 3機関で養成部門設置  
東京大学 科学技術インタープリター養成  
北海道大学 科学技術コミュニケーション養成  
早稲田大学 科学技術ジャーナリスト養成
- 2008年 同志社大学生命医科学部設置
- 2012年 サイエンスコミュニケーション協会設立

一般社会の人々

科学リテラシー

文系分野  
専門の人

理系分野  
専門の人



原発

STAP細胞

遺伝子組換え食品

健康食品

再生医療

科学技術に関連する問題

◎サイエンスコミュニケーター

サイエンスコミュニケーションは知の体系の一つ

# 総合大学同志社大学

## サイエンスコミュニケーター養成副専攻 (2016年)

文系学部

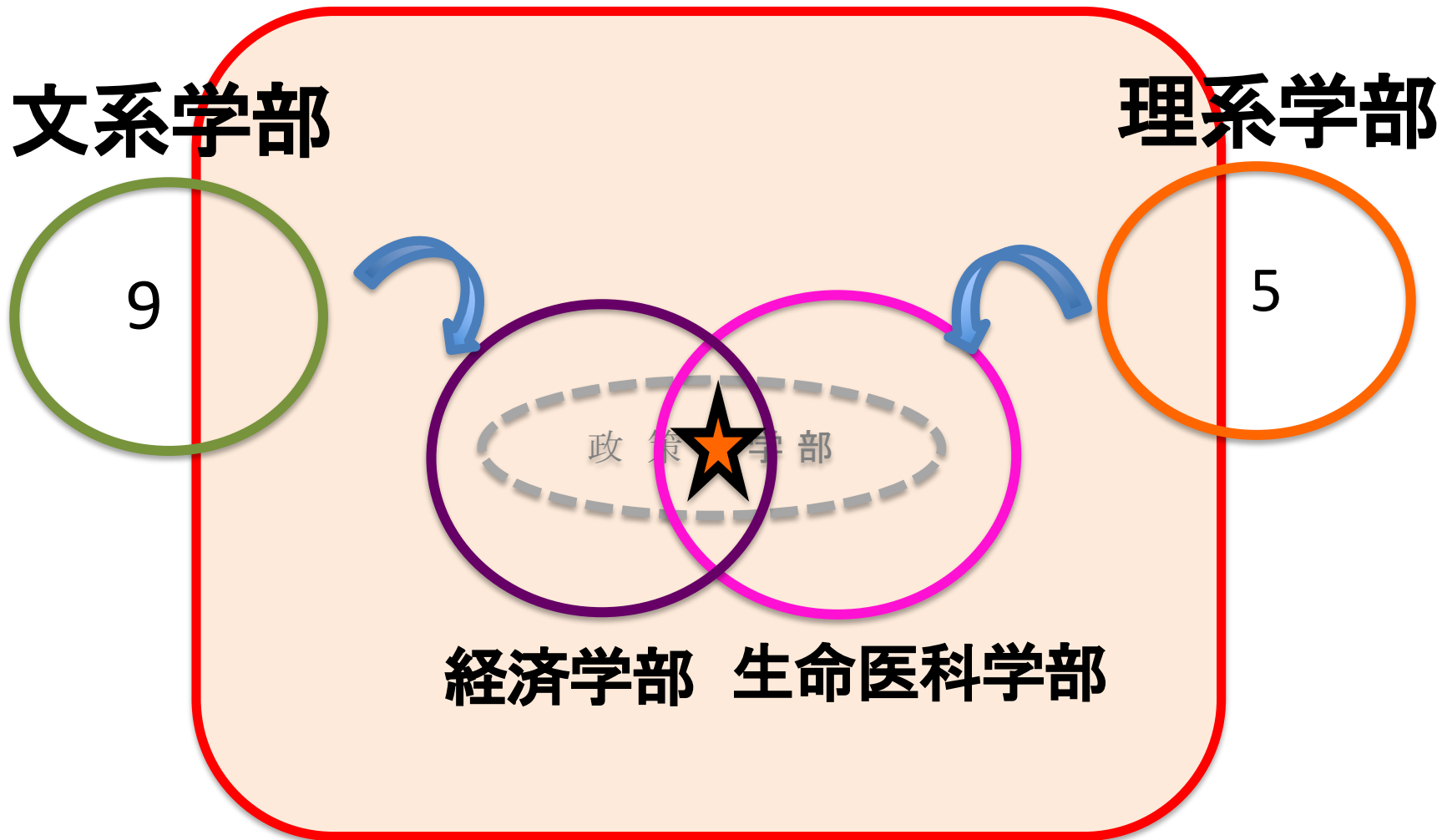
理系学部

9

5

政策学部

経済学部 生命医科学部



# サイエンスコミュニケーター養成副専攻 (2017年)

文系学部

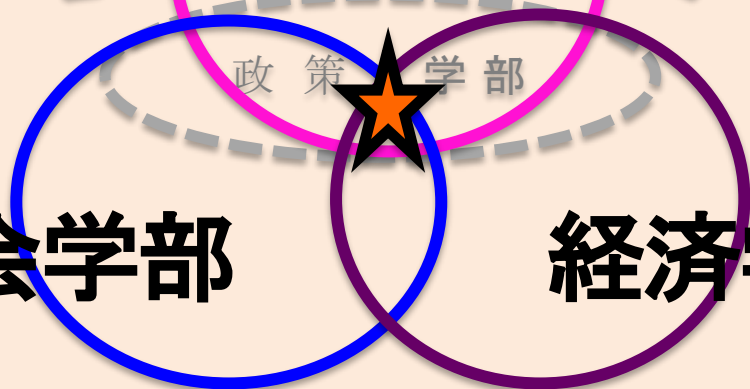
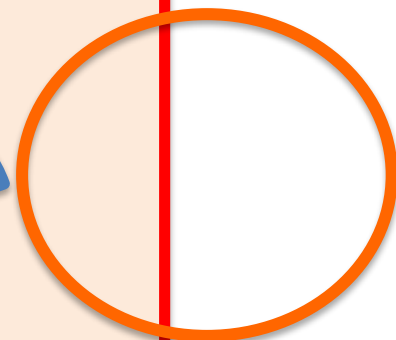
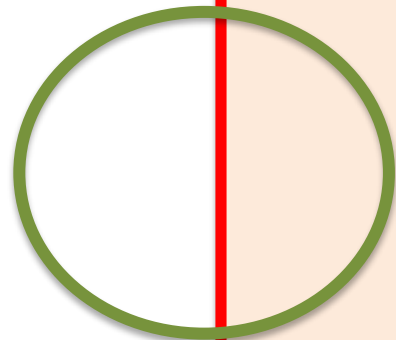
理系学部

生命医科学部

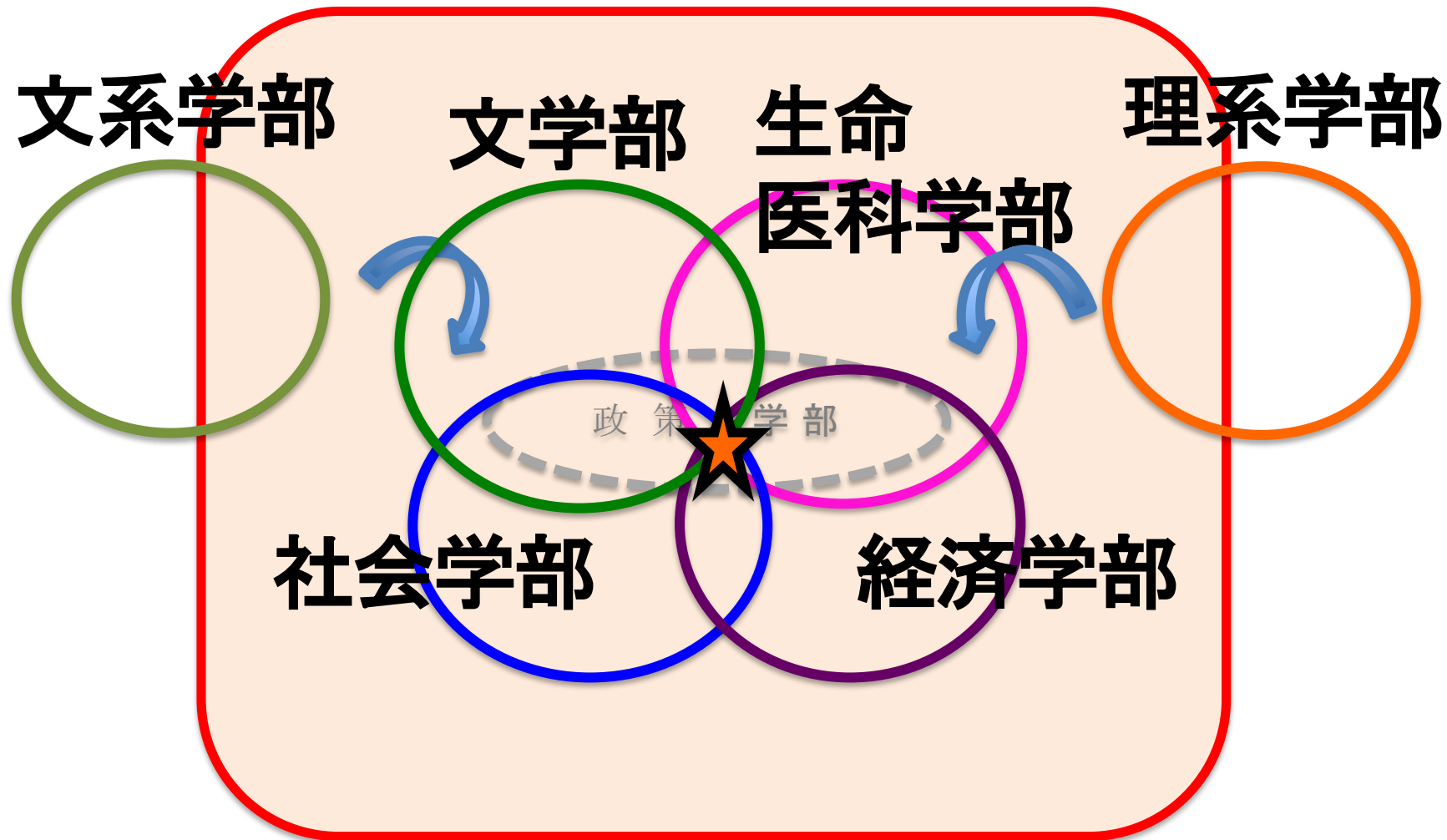
政策学部

社会学部

経済学部



# サイエンスコミュニケーター養成副専攻 (2018年)



# サイエンスコミュニケーター養成副専攻カリキュラム

20単位以上で修了 定員40名+α(少人数制エリート教育)

## ◎サイエンスリテラシー科目群 (12単位以上)

サイエンスリテラシー(両校地でテレビ通信で受けることができます)

科学技術概論Ⅰ(科学技術社会論)\*

科学技術概論Ⅱ(調査方法論/統計学)

アウトリーチ実習(科学技術表現実習)\*

サイエンスライティング\*

サイエンス・ナウ1(生命科学) \*

サイエンス・ナウ2(生命医科学入門)

サイエンス・ナウ3(報道と広報の現場)

サイエンス・ナウ4(科学史、原子力、感染)

サイエンス・ナウ5(インターンシップⅡ 基礎講義)

サイエンス・ナウ6(生命と社会)

サイエンスとインテリジェンス

インターンシップ ビジネスワークショップⅠ(報道と広報)\*

メディカルワークショップⅡ(病院、医療少年院)

## ◎コミュニケーター関連科目群 (8単位以上)

生命医科学部科目・経済学部科目・社会学部科目

文学部科目・政策学部科目・心理学部科目



# \* 石浦章一先生

東大科学技術インタープリター養成プログラムの立ち上げに貢献



リーダー養成のための  
学部生向け倫理授業



来年から使用予定の  
ライティング教科書  
(2017年完成)

生命医科学部特別客員教授(～2020)

# サイエンスコミュニケーター養成副専攻カリキュラム

20単位以上で修了 定員40名+α(少人数制エリート教育)

## ◎サイエンスリテラシー科目群 (12単位以上)

サイエンスリテラシー(両校地でテレビ通信で受けることができます)

科学技術概論Ⅰ(科学技術社会論)

科学技術概論Ⅱ(調査方法論/統計学)

アウトリーチ実習(科学技術表現実習)

サイエンスライティング

サイエンス・ナウ1(生命科学)

サイエンス・ナウ2(生命医科学入門)

サイエンス・ナウ3(報道と広報の現場)

サイエンス・ナウ4(科学史、原子力、感染)

サイエンス・ナウ5(インターンシップⅡ 基礎講義)

サイエンス・ナウ6(生命と社会)

サイエンスとインテリジェンス

インターンシップ ビジネスワークショップⅠ(報道と広報)

メディカルワークショップⅡ(病院、医療少年院)

## ◎コミュニケーター関連科目群 (8単位以上)

生命医科学部科目・経済学部科目・社会学部科目

文学部科目・政策学部科目・心理学部科目

# サイエンスコミュニケーター養成副専攻カリキュラム

20単位以上で修了 定員40名+α(少人数制エリート教育)

## ◎サイエンスリテラシー科目群 (12単位以上)

サイエンスリテラシー(両校地でテレビ通信で受けることができます)

科学技術概論Ⅰ(科学技術社会論)

科学技術概論Ⅱ(調査方法論/統計学)

アウトリーチ実習(科学技術表現実習)

サイエンスライティング

サイエンス・ナウ1(生命科学)

サイエンス・ナウ2(生命医科学入門)

サイエンス・ナウ3(報道と広報の現場)

サイエンス・ナウ4(科学史、原子力、感染)

サイエンス・ナウ5(インターンシップⅡ 基礎講義)

サイエンス・ナウ6(生命と社会)

**サイエンスとインテリジェンス**

インターンシップ ビジネスワークショップⅠ(報道と広報)

メディカルワークショップⅡ(病院、医療少年院)

## ◎コミュニケーター関連科目群 (8単位以上)

生命医科学部科目・経済学部科目・社会学部科目

文学部科目・政策学部科目・心理学部科目

# 佐藤 優 先生 (作家・元外務省分析官) 同志社大学神学部卒



2018年度より、「サイエンスとインテリジェンス」

# 同志社プログラムで育てたい学生

## ● 学部生

- ・将来のキャリア選択のための授業
- ・基礎からの学び(発表スキル、倫理)
- ・他分野の学生と共に学ぶ
- ・短期インターンシップ(早く現場を知る)

## 大学院生 研究志向

・論文あり

⇒ アカデミアへ

論文なし

研究困難—諦めて

→ 科学コミュニケーションへ

—諦めず

→ 研究にしがみつ

**資質1: 積極的な動機を持つ**

・本専攻の授業が終わった5講時以降  
 ・土曜

・今出川校地と京田辺校地はテレビ中継

春	9:00-10:30	10:45-12:15	13:10-14:40	14:55-16:25	16:40-18:10	18:25-19:55
	1	2	3	4	5	6
月						サイエンスナウ5
火					科学技術概論II	科学技術概論I
水					サイエンスライティング	サイエンスナウ3
木						サイエンスナウ4
金						
土						
秋						
	1	2	3	4	5	6
月						
火						
水					アウトリーチ実習	サイエンスナウ6
木						
金					サイエンスとインテリジェンス	
土		サイエンスナウ1	サイエンスナウ2			

# 副専攻の時間割

資質2 熱意・意欲がある

# 同志社プログラムの特徴

1. 大学2、3年生に焦点を当て基礎学習の徹底
2. 上から目線の説明は行わない  
--- 異分野との交わり、双方向性に重点
3. 出前授業などは、なるべく低学年向けに行い、  
科学的根拠の説明に絞る
4. 企業、医療、報道の現場を見る(ワークショップ)

# サイエンスコミュニケーター養成副専攻カリキュラム

20単位以上で修了 定員40名+ $\alpha$ (少人数制エリート教育)

## ◎サイエンスリテラシー科目群 (12単位以上)

### サイエンスリテラシー

科学技術概論Ⅰ(科学技術社会論)

科学技術概論Ⅱ(調査方法論/統計学)

アウトリーチ実習(科学技術表現実習)

サイエンスライティング

サイエンス・ナウ1(生命科学)

サイエンス・ナウ2(生命医科学入門)

サイエンス・ナウ3(報道と広報の現場)

サイエンス・ナウ4(科学史、原子力、感染)

サイエンス・ナウ5(インターンシップⅡ 基礎講義)

サイエンス・ナウ6(生命と社会)

インターンシップ **ビジネスワークショップⅠ(報道と広報)**

**メディカルワークショップⅡ(病院、医療少年院)**

## ◎コミュニケーター関連科目群 (8単位以上)

生命医科学部科目・経済学部科目

社会学部科目・文学部科目

政策学部科目・心理学部科目



## インターンシップⅠ(ビジネスワークショップ)

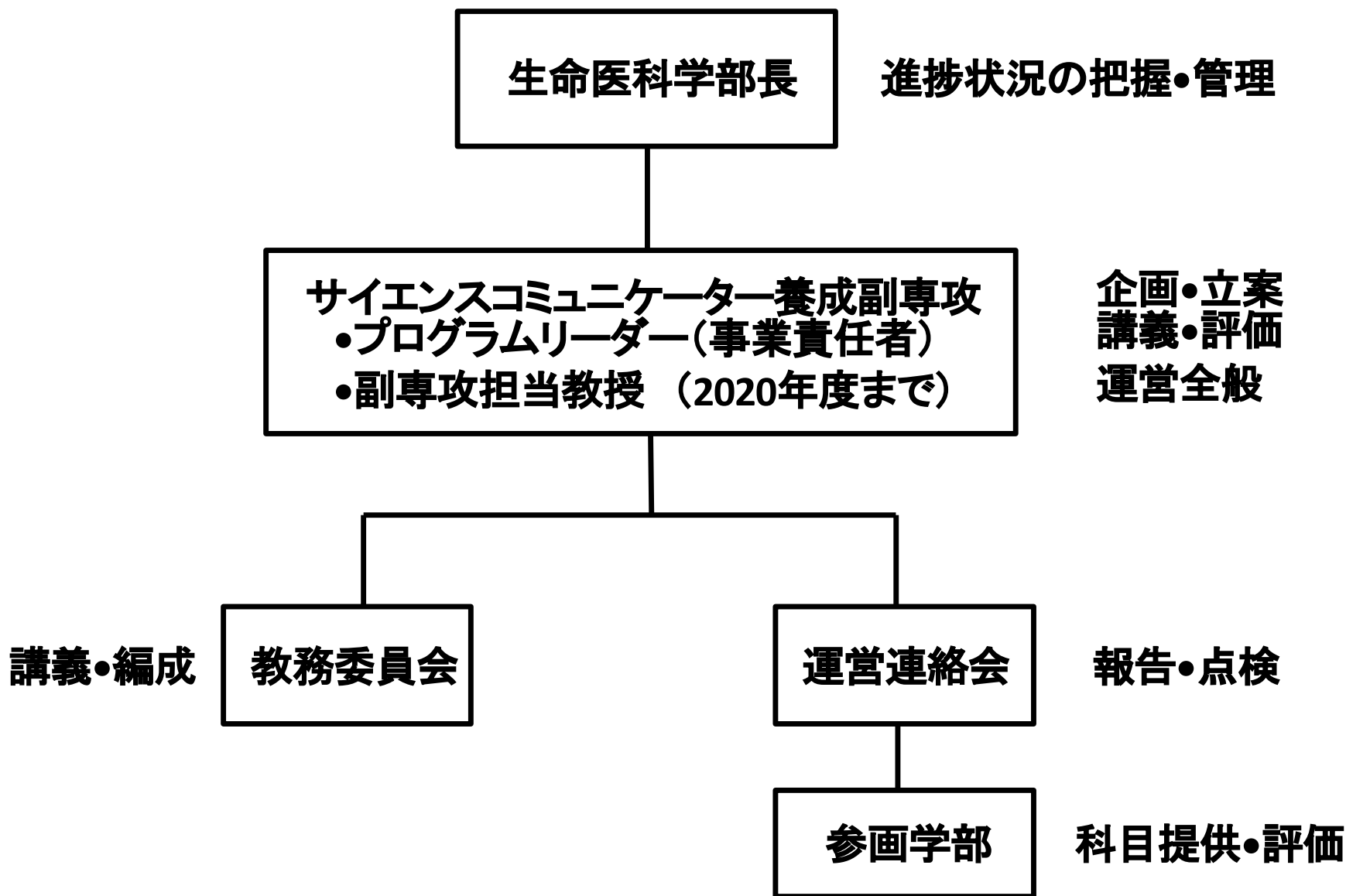
1. 企業広報室 島津製作所、京セラ、イシダ、積水ハウス、雪印メグミルク、etc.
2. 放送局報道室 毎日放送、読売テレビ、京都放送、朝日新聞、読売新聞、京都新聞 etc.
3. 公営施設 京都市動物園

## インターンシップⅡ(メディカルワークショップ)

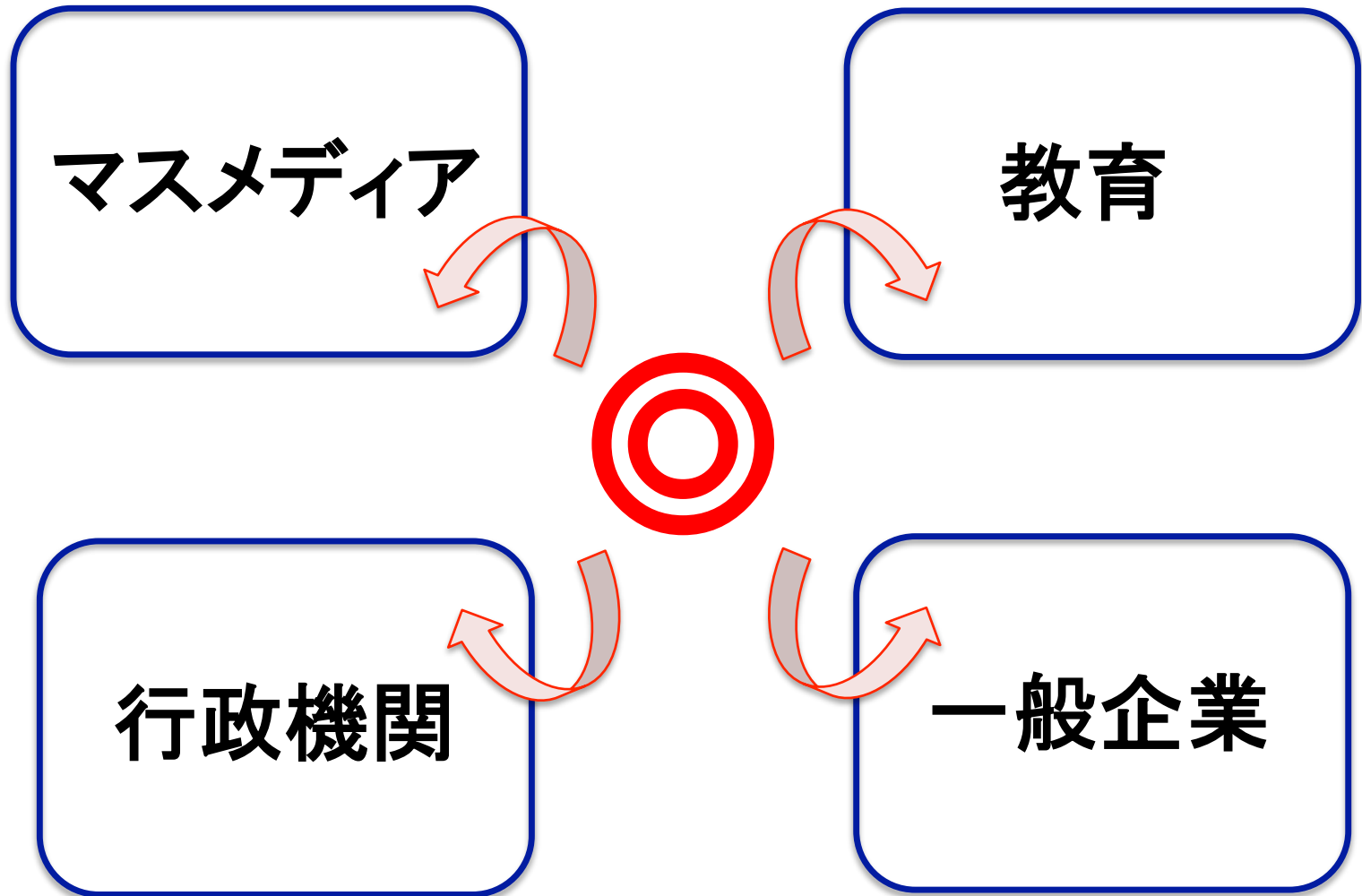
1. 国立病院機構 南京都病院 重度心身障害病棟 (3コース)
2. 京都医療少年院 (1コース)

**発表会(京田辺) 学部を超えて学生が発表準備**

# サイエンスコミュニケーター養成副専攻の組織図



# ◎ 世界にはばたくグローバルリーダー サイエンスコミュニケーター

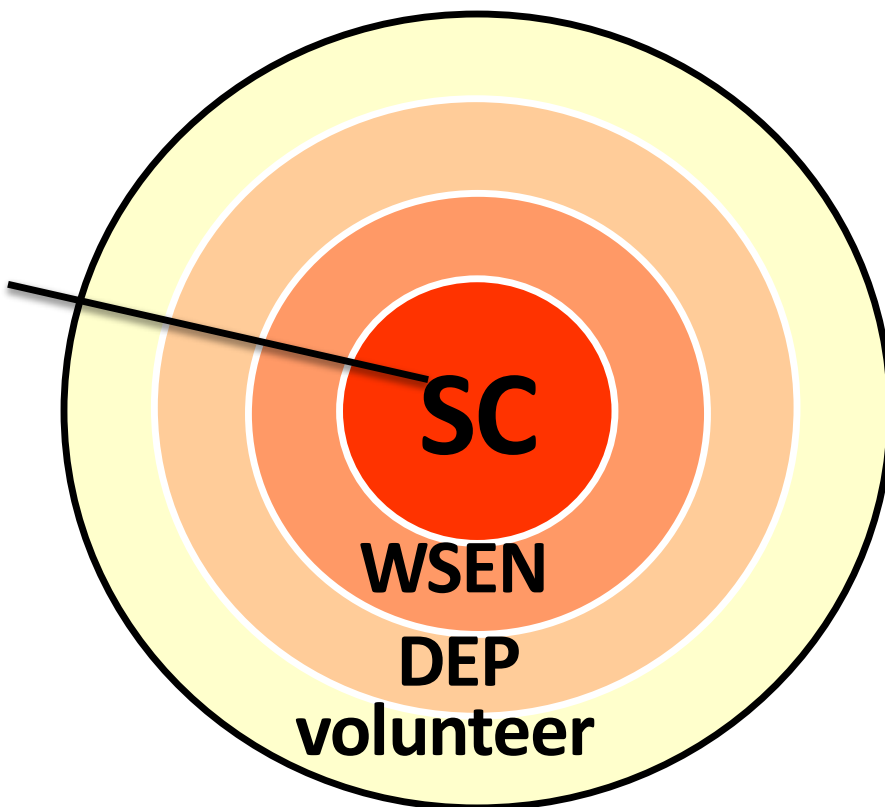


# 2018年8月26日～30日 同志社大学で 世界学生環境サミット開催

**SC: Science Communicator**  
養成副専攻の学生  
32名(生命・経済・社会)

**WSEN: World Student**  
Environment Network  
2名

**DEP: Doshisha Eco Project**  
1名



# ～これまでのサミット～

第1回	2008	同志社大学	日:京都
第2回	2009	ビクトリア大学	加:ビクトリア
第3回	2010	チュービゲン大学	
第4回	2011	ブレーキング工科大学	
第5回	2012	ローザンヌ大学	
第6回	2013	ロイファナ大学	
第7回	2014	ステレンボッシュ大学	
第8回	2015	マードック大学	
第9回	2016	キール大学 サセックス大学	
第10回	2018	同志社大学	



ご清聴ありがとうございました